



【(公財)川崎国際交流協会の講師紹介】

2016年前期後期「英語でディスカッション」担当講師

ルースファロン

Ruth Fallon 先生



World Quiz: How much do you know about the world?

- What is Geoffrey Bawa known for in Sri Lanka?
- What type of Irish musical instrument is a bodhran?
- What was the movie "Cry Freedom" about?

(Answers on P8▶)

質問:世界についてどれだけ知っていますか?

- スリランカで「ジェフリー・バワ」と言えば何で有名?
- 「バウロン」というアイルランドの楽器はどんなもの?
- 「Cry Freedom (邦題:遠い夜明け)」は何に関する映画?

(答えはP8▶)

If you are interested in learning about places and people that are not well-known in Japan but that have had significant roles in the world's history and cultures, you may enjoy the adult evening English class at KIAN. We all share our ideas and experiences with others in a friendly and cheerful setting. Everyone is active! We learn about a country's customs, history, music, food, architecture, art, and cultural traditions. This helps all of us better understand things that are happening in other parts of the world and how people's ways of thinking and acting have developed differently in different parts of the world.

I come from Wisconsin in the United States. It is called "America's Dairyland" and it means we have a large population of cows. We also have many local beer factories because many Germans settled in Wisconsin. Farmers in Wisconsin grow a lot of soybeans, so I love cheese, beer and edamame. I first came to Japan to teach people who were going to work for the United Nations, so I became interested in some parts of the world that I knew nothing about before I came here. The world is wide and amazingly diverse. With the students in the evening class at KIAN, I am still learning!

日本ではあまり知られていない、世界の歴史や文化に多大な影響を及ぼした場所や人びとに興味がある方には、このクラスはぴったりです。受講生も私も、自分たちの考えや経験を話し合います。和気あいあいとした楽しい雰囲気の教室で、みんな本当に積極的です。

講座では、ひとつの国の文化・慣習、歴史、音楽などを学ぶことで、他の国・地域では何が起こっているのか、その地の人々の考えや行動がどのように培われてきたのか、といったことの理解を深めます。

私は「アメリカの農場」と呼ばれるウィスコンシン州の出身です。国連で働く人に英語を教えるために来日してから、それまで知らなかった国々のことに興味を持ちました。世界は広く、信じられないほど多様性にあふれています。この講座の受講生たちとともに、私も学び続けています。(英文: Fallon先生)

後期語学講座

8 講座開講予定 (英語、中国語、韓国・朝鮮語)
8 月募集開始、10 月開講 !!



川崎市国際交流センターの
あれこれ・いろいろ紹介

CENTER'S EYE

Vol. 01

夏休みチャレンジ

川崎市国際交流センターの“HI・MI・TSU”を知ろう!!

川崎市国際交流センター(中原区)は1994年に設立されてから、外国人・日本人市民のための国際交流・異文化理解の場となってきました。このコーナーでは、当センターのさまざまな“HI・MI・TSU”について紹介していきます。

今回は夏休みに合わせて、いつもは何気なく通り過ぎているセンター内の展示物について、子ども向けクイズを開催することになりました。ぜひご来館の上クイズにご応募ください!

国際交流センターの正面玄関に入って、頭上に姉妹・友好都市の国旗が飾られている通路(プロムナード)をまっすぐ奥に進むと、つきあたりの壁にタイル絵と説明文が飾ってあります。これは、川崎市の姉妹都市、オーストラ

リア・ウーロンゴン市から、1998年5月7日に姉妹都市関係10周年を記念して贈られたもので、両市の親善と友好関係を願ったものです。

クイズ

このタイル絵(説明文を除く)に使われているタイルは、全部で何枚あるでしょう?

ぜひ夏休みの間に国際交流センターに来て数えてください! 正解者の中から抽選で5名の方にキャラクターグッズを差し上げます!! 正解の発表は、次号(2016秋号)で。

◆締切: 8月24日(水) 午後5時

◆回答方法: 国際交流センター・受付前の回答用紙に書いて、応募箱に入れてください。なお、グッズの発送をもって発表に代えさせていただきます。

(文: 協会多文化共生課長)

募集

\名前をつけてね!\

(公財)川崎市国際交流協会 キャラクター登場!

下のキャラクター(2種類)に名前をつけて下さい。採用された名前をつけてくださった方に、抽選で10名の方にキャラクターをデザインしたグッズを差し上げます。

◆締切・回答方法は左記と同じ。

